

明日はこれを読もう

二見時代小説文庫

時代小説

小杉健治

# 辻斬りの始末

栄次郎江戸暦20

連続辻斬り  
事件現場で  
栄次郎が  
犯人と対峙!



栄次郎は黒い布で顔を隠した賊が倒れた男に留めを刺そうとしているのに遭遇した。このところ続いている辻斬りであった。一方、御徒目付の兄から、旗本屋敷の女中失踪事件の探索を依頼される。探索を続けていくうち、二つの事件が一つの形にみえはじめ…

二見書房